

---

# 2006年度 第1四半期 決算説明会

2006年7月27日

沖電気工業株式会社

1. 2006年度 第1四半期決算について
  - 1-1) 決算概況
  - 1-2) P/Lの概況
  - 1-3) 事業別セグメント情報
2. 2006年度 中間期業績計画について
3. 主要事業における取り組みについて

本資料における予想、見通し、計画等は、現時点における事業環境に基づくものであり、今後の事業環境の変化により実際の業績が異なる可能性があります。

## 第1四半期および中間期見通しはほぼ計画通り

	第1四半期	中間期見通し / 施策
連結計	前年同期比では減収減益だが、 ほぼ当初計画通り、Q2・下期偏重	当初計画通り
情報通信	<b>金融</b> : ATMは回復傾向、窓口端末は 下期に集中(前年はQ1集中) <b>通信キャリア</b> : 既存網の減少 <b>公共</b> : 計画若干前倒し <b>エンタープライズ</b> : 計画前倒しで推移 <b>ベンチャカンパニー</b> : 順調に推移	<b>金融</b> : セキュリティ対応・海外ATM拡販 営業店回復、郵政民営化準備 <b>通信キャリア</b> : 光、NGNは下期以降拡大 <b>公共</b> : 官公庁・公共下期集中、ITS準備 <b>エンタープライズ</b> : 間接販売・海外強化、 <b>ベンチャカンパニー</b> : 順調に拡大
半導体	<b>ロジック</b> : 液晶パネルの在庫調整により 減少 <b>メモリ</b> : 売価ダウン圧力が継続 <b>ファンダリ</b> : 高耐圧商品が順調	<b>ロジック</b> : 高付加価値化、SOS・無線強化 <b>メモリ</b> : コストダウン、高密度化 <b>ファンダリ</b> : 収益性重視の積極展開
プリンタ	<b>カラーNIP</b> : 本体は増加、消耗品は 当初計画比減少 <b>SIDM</b> : 順調に増加	<b>カラーNIP</b> : コスト低減、中上位機シフト 日本市場拡販、Dell脅威なし <b>SIDM</b> : ローエンド新商品投入、BRICs拡販

- 全体としてはほぼ当初計画通りであるが、対前期比では売上、利益とも減少
- 前年同期比較
  - 売上高は通信キャリアの固定網系設備の投資一巡、液晶パネルベンダの在庫調整などの影響により、59億円減少の1,304億円
  - 営業損失は売上減少および機種構成の悪化により51億円悪化の90億円

(金額単位:億円)	05年度	06年度
売上高	1,363	1,304
営業利益	39	90
経常利益	45	105
当期純利益	40	74
1株当り当期純利益	6.54円	12.04円
総資産	5,954	*1) 6,179
株主資本	1,180	*1) 1,210
1株当り株主資本	192.90円	197.90円
有利子負債	2,790	2,960

\*1) 前年との比較のため、会社法施行等に伴う表示変更前の値で記載

(金額単位:億円)	05年度	06年度
売上高	1,363	<b>1,304</b>
(売上原価率)	(76.8%)	<b>(78.4%)</b>
売上原価	1,047	<b>1,022</b>
販管費	355	<b>372</b>
営業利益	39	<b>90</b>
営業外収支	6	<b>15</b>
経常利益	45	<b>105</b>
特別利益	1	<b>3</b>
特別損失	6	<b>4</b>
税引前利益	50	<b>106</b>
法人税等	10	<b>32</b>
当期純利益	40	<b>74</b>

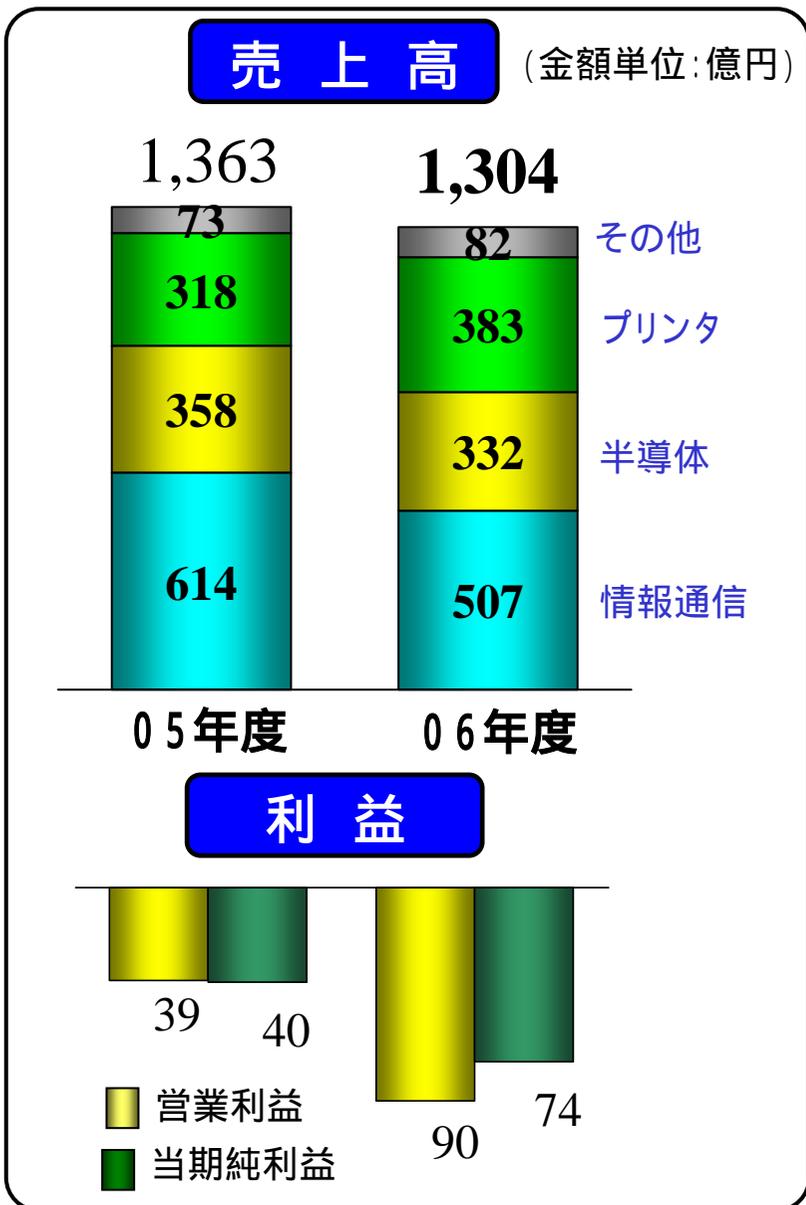
- 売上原価率は価格下落および固定費の増加等の要因により1.6ポイント悪化

- 販管費増加要因  
人件費および広告宣伝・販売促進費の増加

- 営業外収支悪化要因  
為替差損益の悪化および受取配当金の減少

< 為替レート >

	06上期 社内	1Q 実勢	2Q 想定
USD	115.0	114.5	115.0
Euro	140.0	143.8	140.0



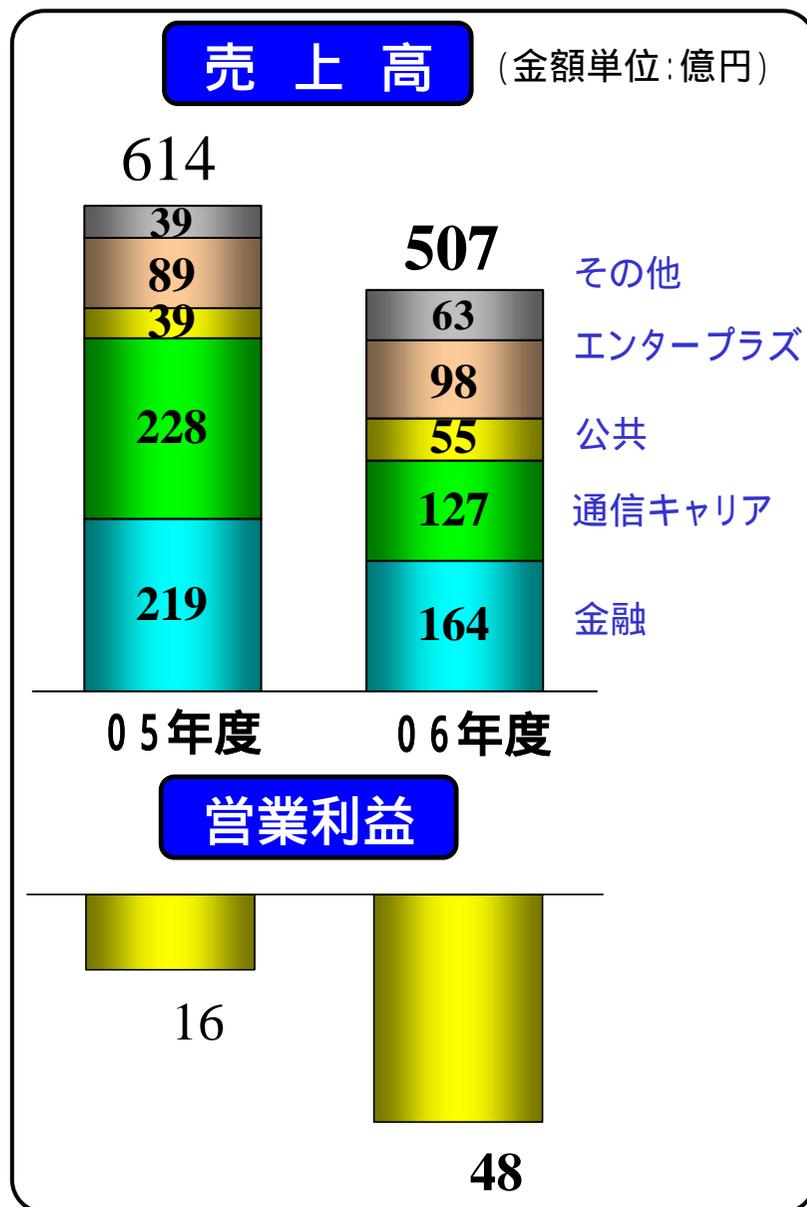
対前年比減少であるが、ほぼ当初計画通り

■ **売上高：前期比5.9億円減少**

カラーNIPを中心にプリンタの売上は増加、金融向けおよび通信キャリア向けシステムの売上減少

■ **営業利益：前期比5.1億円減益**

情報通信での売上減少、およびプリンタでの積極的な販売投資、ローエンド機の台数増等の要因による



## ■ 売上高

**金融**: 55億円の減収

ATMは回復傾向、前期Q1集中の窓口端末が今期は下期偏重

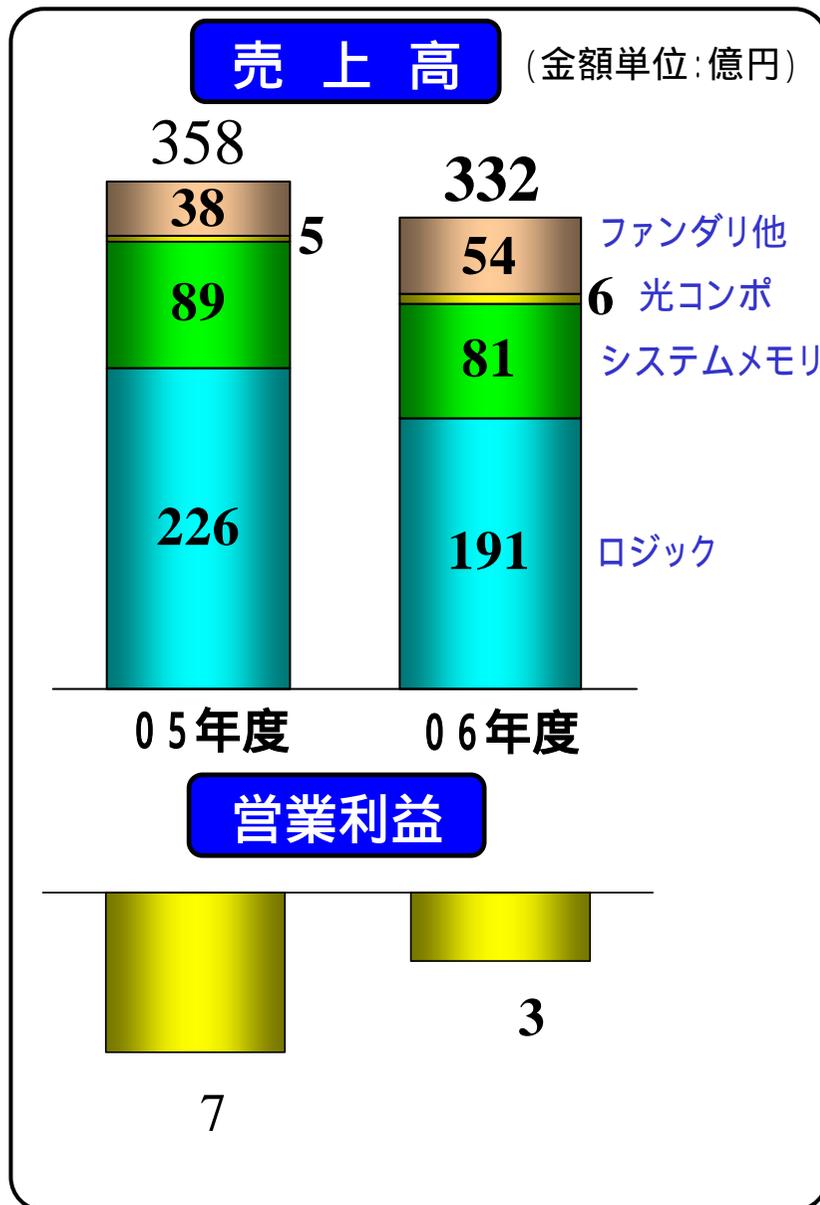
**通信**: 101億円の減収

キャリアの固定網系設備の減少

金融、通信とも減収だが、当初計画通り

## ■ 営業利益: 32億円の減益

金融、通信キャリア向け売上減少による限界利益の減少等



## ■ 売上高

ロジック: 35億円の減収

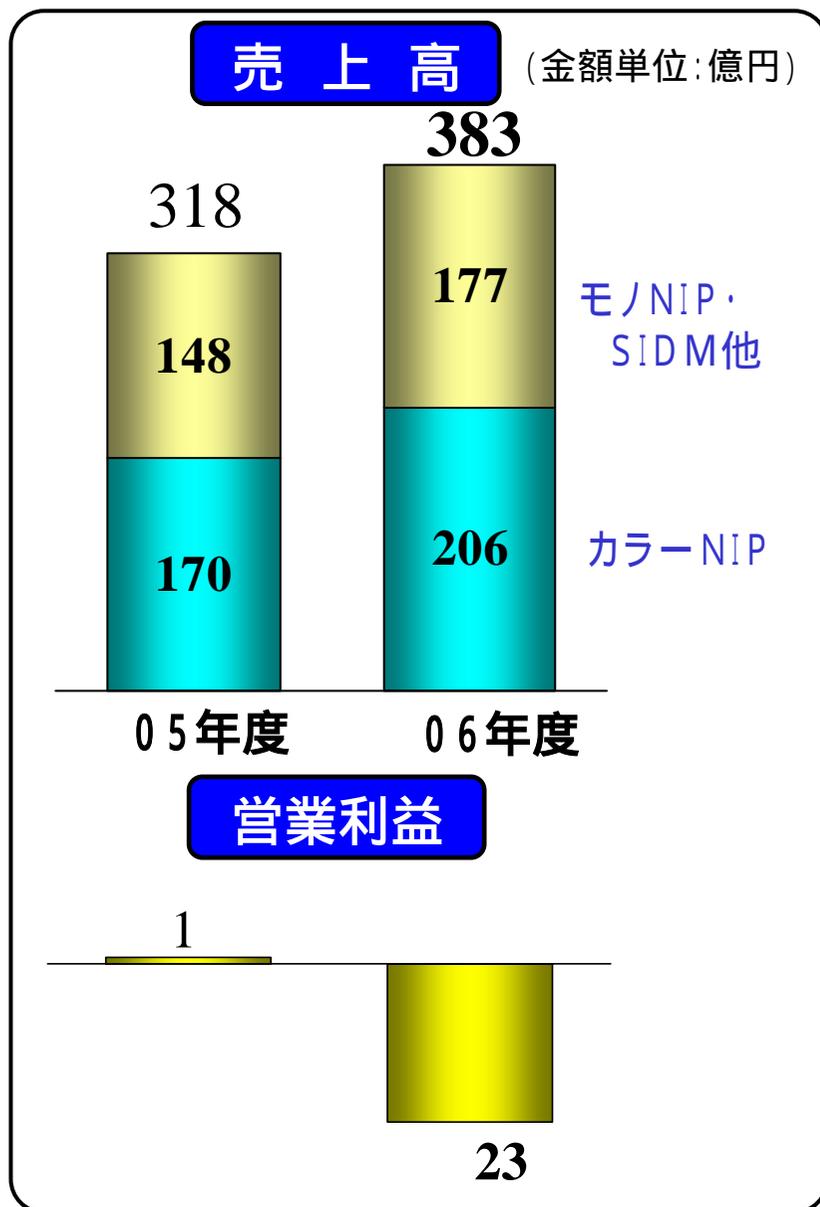
液晶パネルベンダの在庫調整影響によるドライバLSIの減収が主な要因

ファンダリ: 16億円の増収

高耐圧プロセスを活かした事業展開による

## ■ 営業利益: 4億円の増益

価格下落影響はあるが、ドライバ、P2ROMを中心とした収益改善、および為替影響等が主な要因



## ■ 売上高

カラーNIP: 36億円の増収  
出荷台数の増加 および消耗品の売上増等による

モノNIP・SIDM他: 29億円の増収  
SIDMおよびファクシミリ等のOA機器の売上増の要因

## ■ 営業利益: 24億円の減益

積極的な販売投資、ローエンド機の増加等による本体の原価率悪化による

## 1. 2006年度 第1四半期決算について

- 1-1) 決算概況
- 1-2) P/Lの概況
- 1-3) 事業別セグメント情報

## 2. 2006年度 中間期業績計画について

## 3. 主要事業における取り組みについて

本資料における予想、見通し、計画等は、現時点における事業環境に基づくものであり、今後の事業環境の変化により実際の業績が異なる可能性があります。

## ■ 売上高

4月27日公表売上高3,000億円については、変更なし  
セグメント別内訳も前回公表通り

## ■ 営業利益

4月27日公表営業損失120億円については、変更なし  
セグメント別内訳については、情報通信が20億円の増益、  
プリンタで20億円の減益となる見通し

	売上高			営業利益		
	06年度計画		【参考】 05年度 実績	06年度計画		【参考】 05年度 実績
	今回	前回(4/27)		今回	前回(4/27)	
情報通信	1,360	1,360	1,553	60	80	16
半 導 体	720	720	776	0	0	2
プリンタ	760	760	710	20	0	15
そ の 他	160	160	152	10	10	11
消去・本社費	-	-	-	50	50	54
合 計	3,000	3,000	3,191	120	120	42

## 1. 2006年度 第1四半期決算について

1-1) 決算概況

1-2) P/Lの概況

1-3) 事業別セグメント情報

## 2. 2006年度 中間期業績計画について

## 3. 主要事業における取り組みについて

本資料における予想、見通し、計画等は、現時点における事業環境に基づくものであり、今後の事業環境の変化により実際の業績が異なる可能性があります。

## セグメント別売上高・営業利益目標

(金額単位：億円)

		FY05(実績)		FY06(計画)		FY07(目標)	
		売上	営業利益	売上	営業利益	売上	営業利益
情報通信	金融	1,001		1,210		1,300	
	通信キャリア	982		790		870	
	公共	540		660		680	
	エンタプライズ	672		700		750	
	その他	185		240		200	
情報通信計		3,380	109	3,600	125	3,800	200
半導体		1,507	30	1,540	55	1,600	100
プリンタ		1,605	41	1,720	50	1,900	100
その他		313	(74)	340	(80)	300	(100)
合計		6,805	105	7,200	150	7,600	300

## 主要施策

- **ベース金融事業(ATM、営業店、現金処理)の収益力の強化**
  - セキュリティ対応ATMの本格化とコンビニATM更改による売上拡大
  - 現金処理機の郵政、海外(韓国等)市場への拡販
- **新金融事業(e金融、NW)の拡大**
  - ネット系金融にて実績のあるソリューションを、新たなネット銀行へ水平展開
  - 店舗映像監視、ATMフルアウトソーシング等のサービス/ソフト事業の拡大
- **郵政民営化にむけた事業展開の準備**
  - 郵政ソリューション本部の新設、窓口端末、現金処理機、次世代店舗端末、セキュリティ(現金管理、映像監視)、業務委託等、事業機会の発掘・創出
- **中国向けATM事業の拡大**
  - 中国現地軸足へ事業活動の転換、08年度目標シェア30%(05年度:5%)

## 市場動向

- コンビにATMを含め、偽造カード、盗撮防止対策のためのセキュリティ強化の本格化
- 中国・韓国等を中心に還流式ATM市場が成長
- 金融機関経営健全化に向けた各種施策実施(アウトソーシング、価格低減要請)

## 事業戦略

- 現行機器のセキュリティ強化、ICカード、生体認証機能付きATM-BankIT拡販
- アウトソーシング事業強化:ATM集中監視、トータルネットワークサービス等
- 中国市場向けATM事業強化(チャネル開拓と中国向け新ATMの投入:06/下)

### 中国市場向けATM事業強化

- 怡化に続く、新規パートナーの開拓により、4大銀行および商業銀行を攻略する
  - 中小銀行向けは新規販売チャネルの構築、入出金モジュールのOEM供給により認定取得
- 2008年度に中国ATM稼働シェア30%を獲得する**

中国ATMの稼働台数見通しと目標シェア



## 主要施策：次世代ネットワーク(NGN)に向けた沖電気の取り組み

### -NGNとは

フルIP、サービスレイヤ分離、QoS/セキュリティ強化を図り、固定・無線(モバイル/WiMax)インフラの統合を実現したユビキタス社会を担う次世代ネットワーク

事業領域	強みと目標	重点商品
APL & PF	<p>各種既存TDM系開発・サービス・運用、及び世界最大規模のキャリアグレードSW開発・運用ノウハウのIMS商品への反映</p> <p>既存VoIP・PSTNからのNGNマイグレーション案件の獲得</p> <p>SDPキラーアプリの創出と携帯市場参入 (Service Delivery Platform)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>CenterStageNXシリーズ</li> <li>SIP-ASをコアとしSDP商品群</li> <li>OpS(NMS)</li> </ul>
コアNW	<p>大規模NWSI技術・ノウハウと、TDM系システムの開発・運用ノウハウを活かし、Open製品ベンダとのアライアンスで商品化、市場参入</p> <p>GMPLSを実現する光・ルータ類のソリューション強化</p> <p>パートナーとの関係強化、共同開発体制の確立</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マルチサービス用ADM</li> <li>ルータ/スイッチ類</li> </ul>
アクセスNW	<p>光アクセスシステム向けコアLSI/光部品の開発技術、方式/システム技術とノウハウを次世代商品へ反映</p> <p>xPONをコアにした商品の品揃え、販売体制の強化</p> <p>無線アクセス市場参入</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>GE-PON/COF/MSAN</li> <li>各種無線アクセス商品</li> </ul>
ホームNW	<p>「eおと」、「eえいぞう」のコア技術とAPL層との連携で商品創出</p> <p>高品質音声・映像を提供する競争力のあるプラットフォームと</p> <p>End-Endのトータルソリューションの提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>VoIP/NGN-TA</li> <li>BBホームルータ</li> </ul>

## 公共システム事業の主要施策

- 社会情報：官公庁大型プロジェクトの受注拡大推進中、u-Japan推進部を核に沖EAソリューションを展開
- 交通：次期VICS用DSRC事業強化、ETCシェアアップ
- 公共：行政無線システムの市町村合併需要、デジタル化需要、更新需要の確実なフォローとシェア拡大(消防・防災分野に集中)

## エンタープライズ事業の主要施策

- 企業向け情報通信システム：企業向けトリプルプレー・コミュニケーションの提供、「eおと」と「eえいぞう」による差別化戦略
  - PBX・KTSの新商品投入による販売拡大、海外展開の強化
  - CTstage 5i商品化によるコンタクトセンタ市場でのトップブランド確立
- 運輸・流通向けシステム：ネットワーク・ミドルメカトロ技術をベースに運輸・流通市場でのユビキタスサービスのインフラ提供
  - 予約・発券システム既存ユーザの次期システム確保、自動チェックイン機、流通向けATM・現金処理機等の品揃えと新顧客開拓

## 主要施策(1)

### 高耐圧、低消費電力、不揮発性メモリ等の差別化技術商品へ注力

#### ■ 大型TFTドライバ :

・T-CON : Timing Controller

高画質/高精細・高速・低消費電力で業界を牽引、T-CON等とのチップセット提案による高付加価値ソリューションの提供で売上と収益を拡大

#### ■ P2ROM :

- ・高密度セルによる大容量P2ROMのゲーム、アミューズメント市場への早期投入によるコスト対応力強化
- ・カスタムロジック、セキュリティ機能との融合による高付加価値商品の提供で売上を維持し収益を拡大

#### ■ 電源制御 :

- ・高耐圧プロセスの優位性を生かしたファンダリビジネス強化
- ・低耐圧から高耐圧デバイスまでの自社ブランド商品による売上拡大

## 主要施策(2)

## システムLSIは無線市場に集中

Mixed Signal技術、変復調技術、RF技術等の「無線技術」と、SOS等の「低消費電力技術」を差別化技術として無線市場向けシステムLSI商品へ注力

## ■ PHS BB :

国内PHS市場(シェアNo1)で培われた技術をベースに「RF内蔵1Chip商品」で中国PHS市場(シェアNo1)の売上維持と収益拡大

2006年1-3月期市場シェア 【沖独自調査】

- ・ 中国音声端末: 35%(第1位)
- ・ 国内音声端末: 100%(第1位)
- ・ 国内データカード: 70%(第1位)

## ■ SOS :

携帯電話、携帯機器向けRFフロントエンドを差別化商品として売上拡大(ペレグリン社との協業を最大限に活用、社内Fabでの生産を拡大)

## ■ WiMax :

SOSの特長を生かしたRFフロントエンドを中心とした高付加価値商品での事業展開

## ■ ZigBee :

ユビキタスネットワーク(センサ、セキュリティ)向けに無線技術との融合によるRF内蔵1Chipの高付加価値商品で売上拡大

## ■ ITS :

DSRC等の無線技術との融合による車載向け高付加価値商品で売上拡大

## カラーNIP収益力強化施策

### ■コスト低減施策:

- 全プロセスにおけるコスト対策を再点検
- 物流コスト低減、販売投資の効率化、その他経費の見直し
- 新型LEDヘッドによるコストダウン

### ■ローエンドDT機から中上位機種へのシフト

- ローエンド機のストリート価格の値上げ
- 中上位機種は価格性能比の優位性を維持

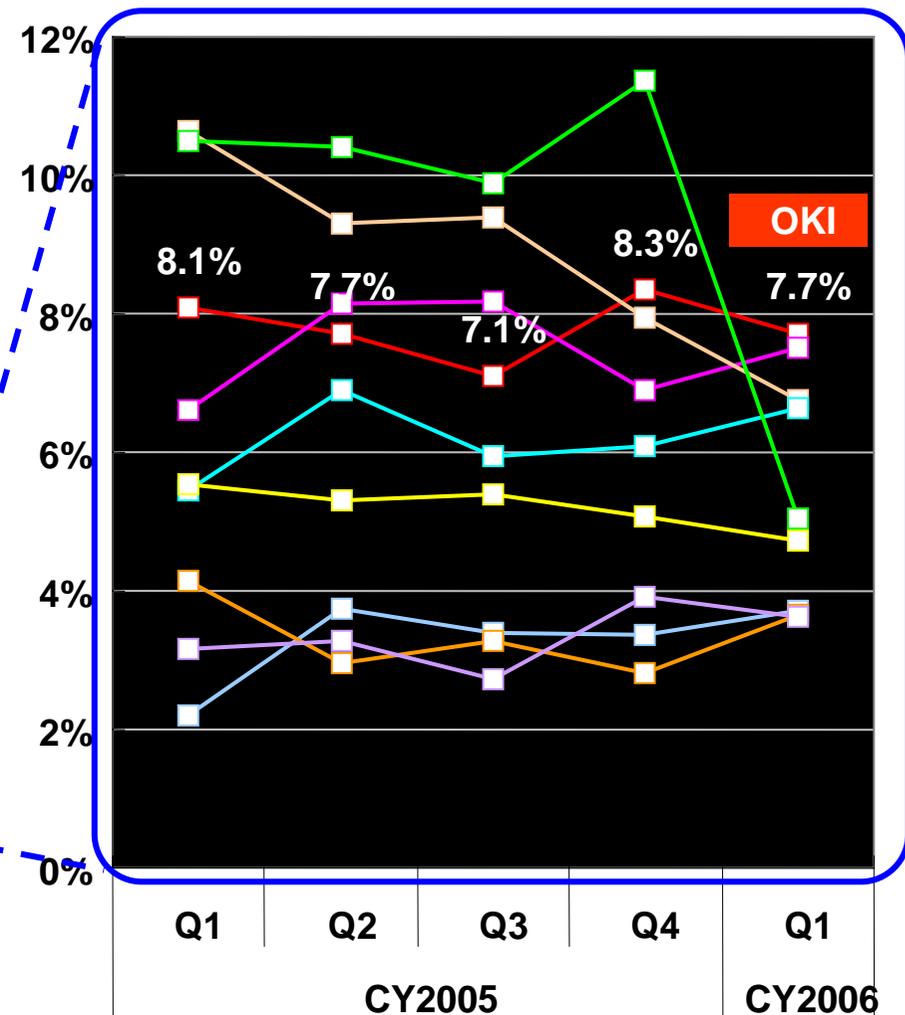
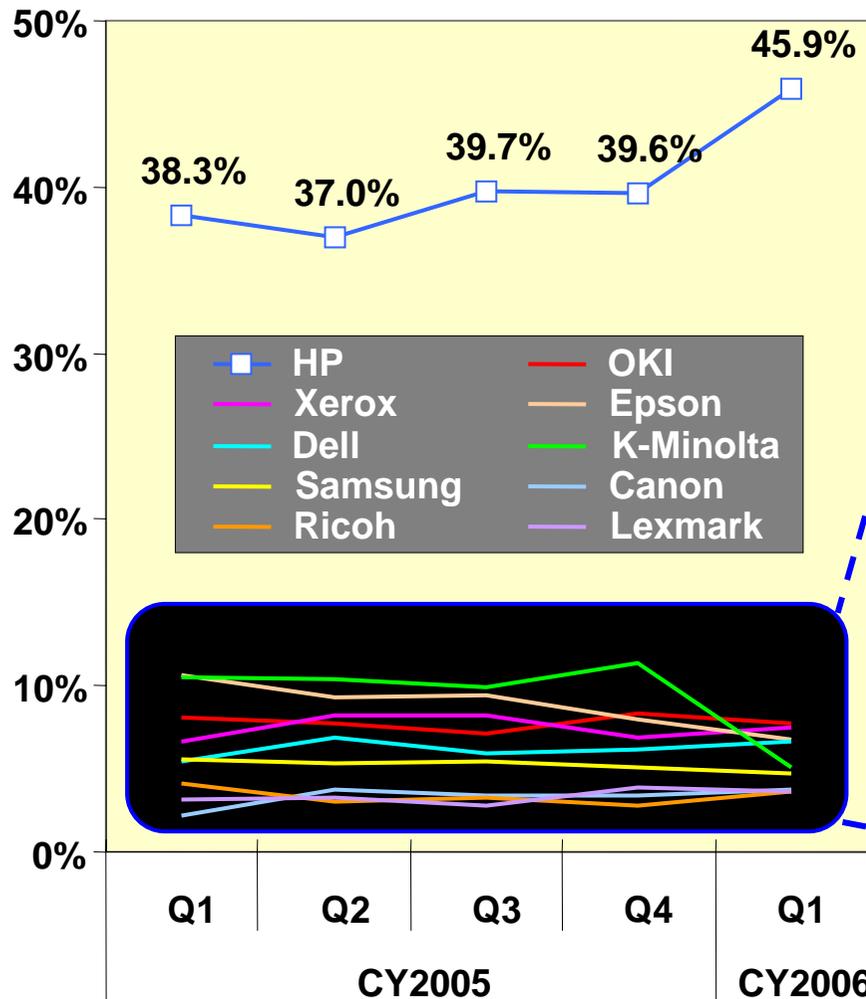
### ■消耗品の収益力強化

- トナー商品の品揃え強化と販売ルート of 適正化
- RFID搭載による純正品比率の維持
- 豊富なアプリケーション開発による消耗品の売上増強

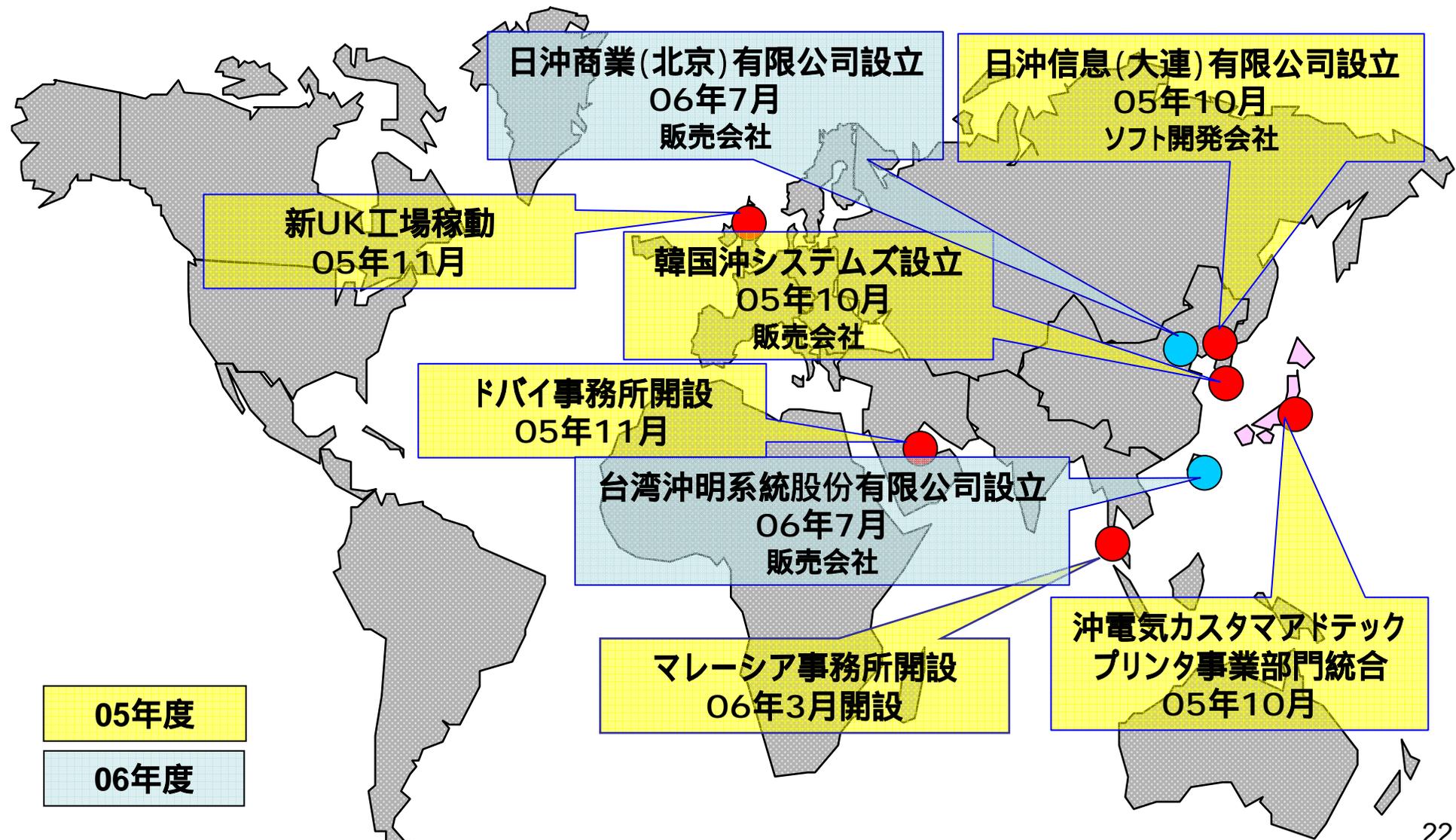
## SIDMの収益力強化施策

### ■ローエンド新商品の投入によるBRICs市場でのシェア拡大

## OKIは2位、HPがレーザータンデム機でシェアを拡大



販売力強化に向け中国販売会社(北京)等、グローバル拠点を積極的に拡充



- 2006年6月、転換社債型新株予約権付社債(転換価格修正条項付き)  
300億円発行

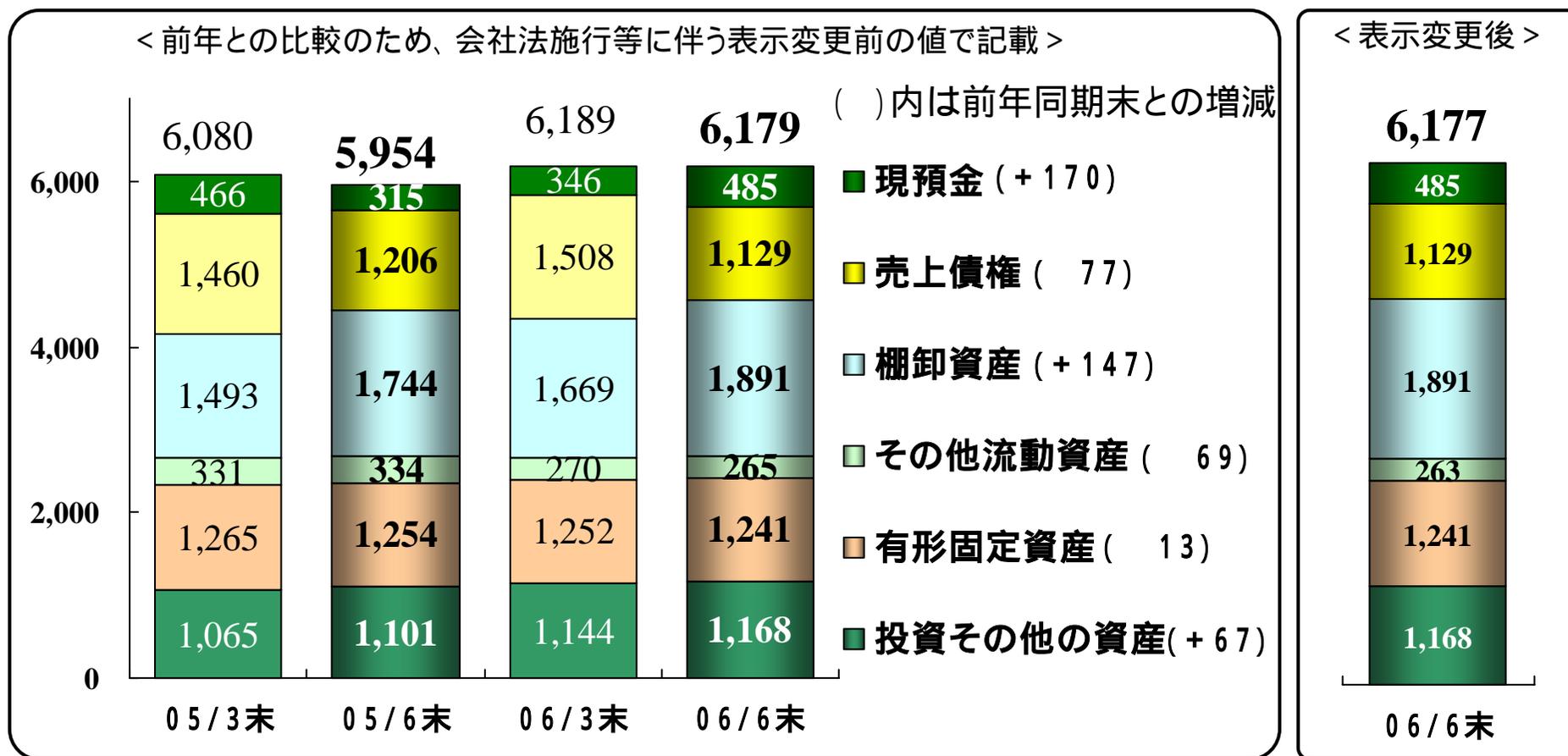
(金額単位:億円)

	05年度	06年度	増減	備考
営業キャッシュフロー	187	66	121	
税金等調整前当期純利益	50	106	56	<b>&lt; 運転資金増減影響内訳 &gt;</b> (05年度) (06年度) 売上債権 261 398 棚卸資産 250 220 仕入債務 137 109 計 126 69
減価償却費	79	79	0	
運転資金の増減	126	69	195	
その他	90	108	18	
投資キャッシュフロー	75	56	19	
設備投資支払額	62	47	15	
その他投資活動	13	9	4	
フリー・キャッシュフロー( + )	262	122	140	
財務キャッシュフロー	119	267	148	
社債発行	0	300	300	
社債償還	100	0	100	
長短借入金を増減他	219	33	252	
キャッシュフロー計( + + )	143	145	288	
現金同等物等の期末残高	363	538	175	

【貸借対照表 - 資産の部】

- 現預金は社債発行の手取資金により前年同期比170億円増加(社債償還準備資金)
- 棚卸資産はプリンタの売上増、官公庁向け長期開発案件、為替影響等の要因により前年同期比147億円増加

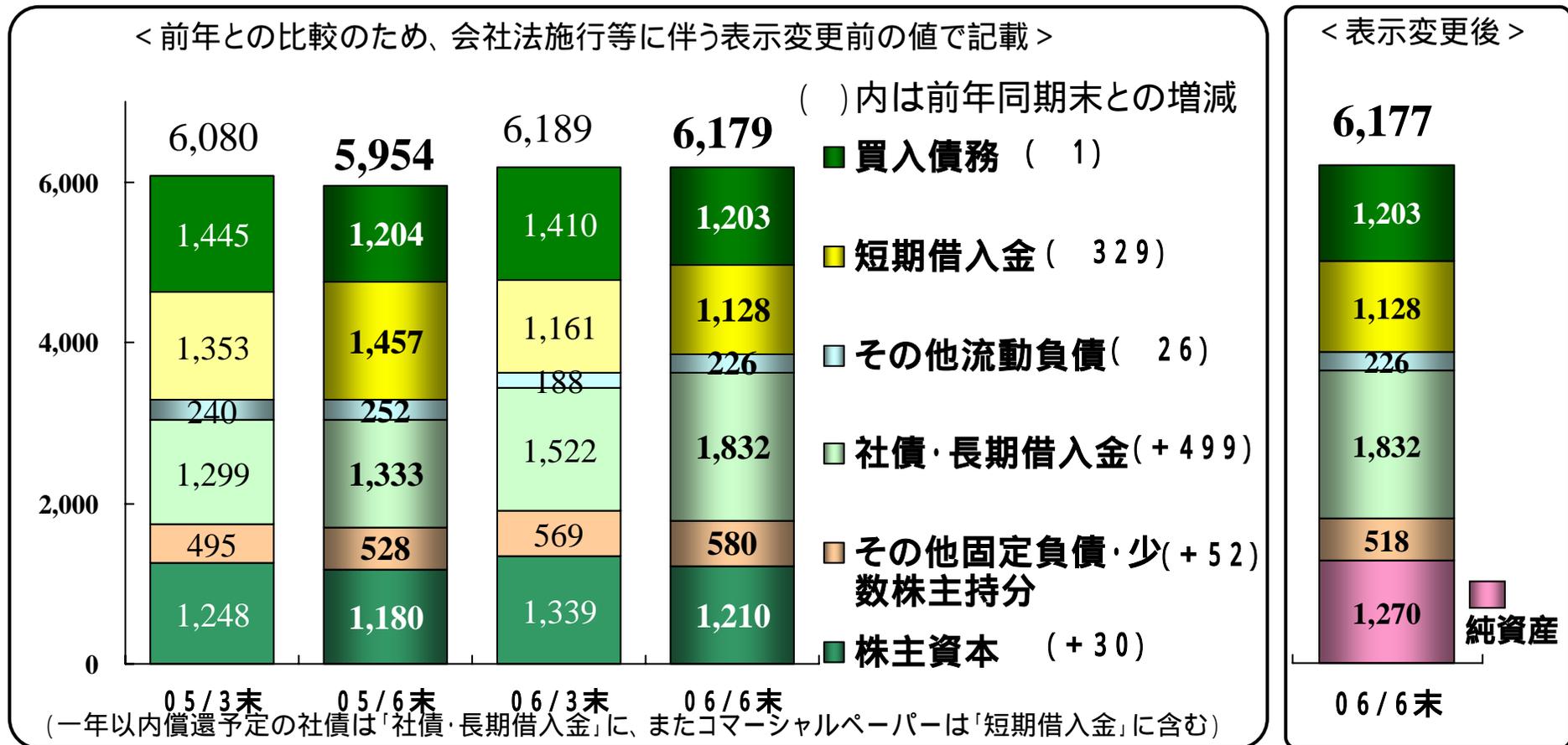
(金額単位:億円)



【貸借対照表 - 負債・資本の部】

- 2006年6月、転換社債型新株予約権付社債(転換価格修正条項付き) 300億円発行

(金額単位:億円)



P3	ATM	Automated Teller Machine	P16	SI	System Integration
	NGN	Next Generation Network		GMPLS	Generalized Multi-Protocol Label Switching
	ITS	Intelligent Transport System		ADM	Add-Drop Multiplexer
	SOS	Silicon on Sapphire		PON	Passive Optical Network
	SIDM	Serial Impact Dot Matrix		GE-PON	Gigabit Ethernet PON
	BRIC	Brazil, Russia, India, and China		COF	CDMA over Fiber
P6	NIP	Non-Impact Printer		MSAN	Multi Service Access Node
P8	LSI	Large Scale Integration		TA	Terminal Adapter
	P2ROM	Production Programmed Read Only Memory		BB	Broadband
P9	OA	Office Automation	P17	EA	Enterprise Architecture
P13	FY	Fiscal Year		VICS	Vehicle Information Communication System
P14	NW	Network		DSRC	Dedicated Short Range Communication
P15	IC	Integrated Circuit		ETC	Electronic Toll Collection
	OEM	Original Equipment Manufacturer		PBX	Private Branch Exchange
P16	IP	Internet Protocol		KTS	Key Telephone System
	QoS	Quality of Service	P18	TFT	Thin Film Transistor
	APL&PF	Application Platform	P19	RF	Radio Frequency
	TDM	Time Division Multiplexing		PHS	Personal Handy-phone System
	IMS	IP Multimedia Subsystem		LED	Light-Emitting Diode
	VoIP	Voice over IP	P20	DT	Desktop
	PSTN	Public Switched Telephone Networks		ID	Identification
	OpS	Operation System			
	NMS	Network Management System			